

# YOKOHAMA DANCE COLLECTION 2023

現象を見る

Yokohama Red Brick Warehouse No.1



11.30 [THU] — 12.17 [SUN]

ヨコハマダンスコレクション

横浜を拠点に毎年開催されているコンテンポラリーダンスの祭典。

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまり、今回で29回目を迎える。

500組以上の振付家を世界に送り出したコンペティションのほか、近年の受賞者による公演、世界的に活躍する振付家による新作海外のダンスフェスティバルとの連携プログラムなど、多彩なプログラムで構成される。

日本語



ENGLISH



## Choi x Kang Project



©KNCDC Photo Mok Jinwo

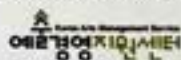
## Choi x Kang Project

## 『A Complementary Set Disappearing with an Impact』

内部と外部、現在と過去、見える物と見えない物。  
視線の外の事物は制御可能か。

2018年のYDCコンペティションI 審査員賞受賞作『Complement』の発展形となる、チェ・ミンソンとカン・ジンアンの振付・出演のデュオ。『Complement』はカメラ、モニター等の使用でリアルなダンスと映像を併置して時間と空間を攪乱し、二次元と三次元のあいだに生まれるものを提示したが、今回のクリエイションは「視線の外の事物は制御可能か?」という問いから出発したという。二人の関係性から生じる空間、映像のフレームの内部と外部、現在と過去、抽象化するサウンド。身体、映像、音楽が現実において意味を失ったとき、見えるものと見えないもの、存在と不在の相互作用から一体何が生まれるのだろうか?

振付・出演: Choi x Kang Project (チェ・ミンソン、カン・ジンアン)  
助成: Korea Arts Management Service



## Wang Yeu-Kwn



© Chen You-Wei

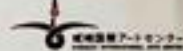
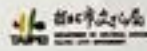
## ワン・ユークアン 〈Shimmering Production〉

## 『Beings』

一瞬ごとに変容する二人の関係性からみる、  
「私」と「私たち」という関係の絆を探究。

「一人が二人になり、私たちを通して私は“私”をつかま見つける」。台湾の新進振付家ワン・ユークアンは「人」という漢字からインスピレーションを得て、この親密なデュオを創造した。大きな白い紙とインクが二つの身体を侵食し、絡み合う一組の男女の関係性は一瞬ごとに変容し、高まり、予期せぬ結末へ向かう。実験的だが秘めた情熱を伝える『Beings』は、コロナ禍のYDC2021-DECコンペティションIで映像上演形式で発表され、奨励賞、アーキタンツ・アーティスト・サポート賞、城崎国際アートセンター賞をトリプル受賞後、欧州、北米でも上演し高評を得た。ついに実現する劇場上演であり、絶対に見逃せない。

振付: Wang Yeu-Kwn  
出演: Lee Yin-Ying, Wang Yeu-Kwn  
助成: National Culture and Arts Foundation, Department of Cultural Affairs Taipei City Government  
提携: 城崎国際アートセンター(豊岡市)、スタジオアーキタンツ



## ダンスクロス

ダンス リフレクションズ by ヴァン・クリーフ&アーベルとの連携による作品上演と、  
コンペティションI「若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴァン・クリーフ&アーベル賞」受賞者によるフランスでの

## Nakagawa Ayane



## 中川 絢音 〈水中めがね∞〉

## 『にほんだてだッテ』

日本舞踊の表現を用いてアイデンティティを問う。  
地球を繁殖部屋と仮定し存在の意味を問う。

12月8日(金) 19:00、12月9日(土) 16:00

会場 横浜にぎわい座 のげシャール

YDC2021-DECコンペティションIで受賞し、フランスでのレジデンスを終えた中川絢音の現在地を示すダブルビル。『my choice, my body,』はコンペティションI受賞作であり、日本の現代ダンスの到達点として必見の作品。3人のダンサーが振り足、能面等の日本の舞踊の象徴的表現を用いてアイデンティティを問い、コンテンポラリーダンスを再解釈する。同時上演の新作は、2017年コンペティションIIで水中めがね∞作品として発表し、リクリエーションを重ねる『絶滅危惧種』の最新版。地球を種の“繁殖部屋”と仮定し、存在の意味を問う作品が、中川の振付・演出・出演のソロ作品となる。

『my choice, my body,』

演出・振付: 中川 絢音

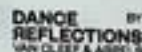
出演: 金 愛珠、(以下、(水中めがね∞)) 根本 紳平、中川 絢音

楽曲制作: OKSS

新作(タイトル未定)

演出・振付・出演: 中川 絢音

共催: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ  
助成: ダンス リフレクションズ by ヴァン・クリーフ&アーベル、  
公益財団法人セゾン文化財団  
協力: フランス国立ダンスセンター(CND)



THE SAISON FOUNDATION



Performance by Former Prizewinner

## Wang Yeu-Kwn

(Shimmering Production)

## “Beings”

12.05 [Tue] 19:00, 12.06 [Wed] 19:00

@Yokohama Red Brick Warehouse No.1 3rd floor Hall

‘From one to two, I see “I” through us.’

“Beings” takes inspiration from the Chinese character “人” (person). The dance piece touches on the relationships between the two supporting calligraphy strokes between the two intimately connected performers between the rice paper and the ink.

Two dancers perform on a 4 by 4 meter hand-crafted layered rice paper, their movements expressing the tension within the relationship. Evolving movements from opposing and balancing each other, “Beings” explores a new way of narrative on relationships. This duet tries to deconstruct and reconstruct the relationship. Through the two dancers, as well as through the rice paper and the ink, the choreographer invites the viewers to reflect and to rethink what has defined “us”.

## Wang Yeu-Kwn



photo by CHEN Wei-Sheng

Wang Yeu-Kwn is the founder and artistic director of <Shimmering Production>. Wang started his career as a choreographer after leaving Cloud Gate 2, where he was a professional dancer from 2008 to 2015. He takes interest in exploring the connections and disconnections between people, people and environments, and among cultures. “Beings”, which received the Encouragement Prize, the Studio Architanz Artist Support Prize, and the Kinoshiki International Arts Center Prize at YDC2021-DEC Competition I, is the first episode of his choreography project “A Trilogy — Quest of Relationships”. With the support of the National Theater and Concert Hall, National Kaohsiung Center for the Arts Weiwuying, residency programs at The Place in London and Kinoshiki International Arts Center, Wang has started creating “Islands”, the second episode of the project, which is set to premiere in fall 2024.

## Lee Yin-Ying



photo by CHEN You-Wei

Lee is the co-founder of <Shimmering Production>. She was a professional dancer at Cloud Gate 2 from 2009 to 2019, and toured internationally with the Company. Aside from live dance performances, Lee continues to explore various possibilities including cross-border video shooting, dramatic body action design, and sharing of physical skills with more professional dancers and non-professional ordinary people. In 2023, with the support of the Asian Cultural Council, Lee conducted an Individual Fellowship to study Noh theater in Japan.

## Shimmering Production

was founded in 2019, with two main focuses: creating contemporary experimental works, and building up movement workshops, “Hand in Hand, We Dance”, for the general public. More about the Company:

<https://shimmeringproduction.com/>

Choreography : Wang Yeu-Kwn

Performance : Lee Yin-Ying, Wang Yeu-Kwn

Dramaturgy : Chen Lucky

Set design : Chen Guan-Lin

Lighting design : Shyue Joanne

Costume concept : Lin Eno

Technical staff on tour : Lan Chin-Ting

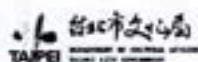
Administrative support : Hsu Tzu-Yin, Yeh Salina

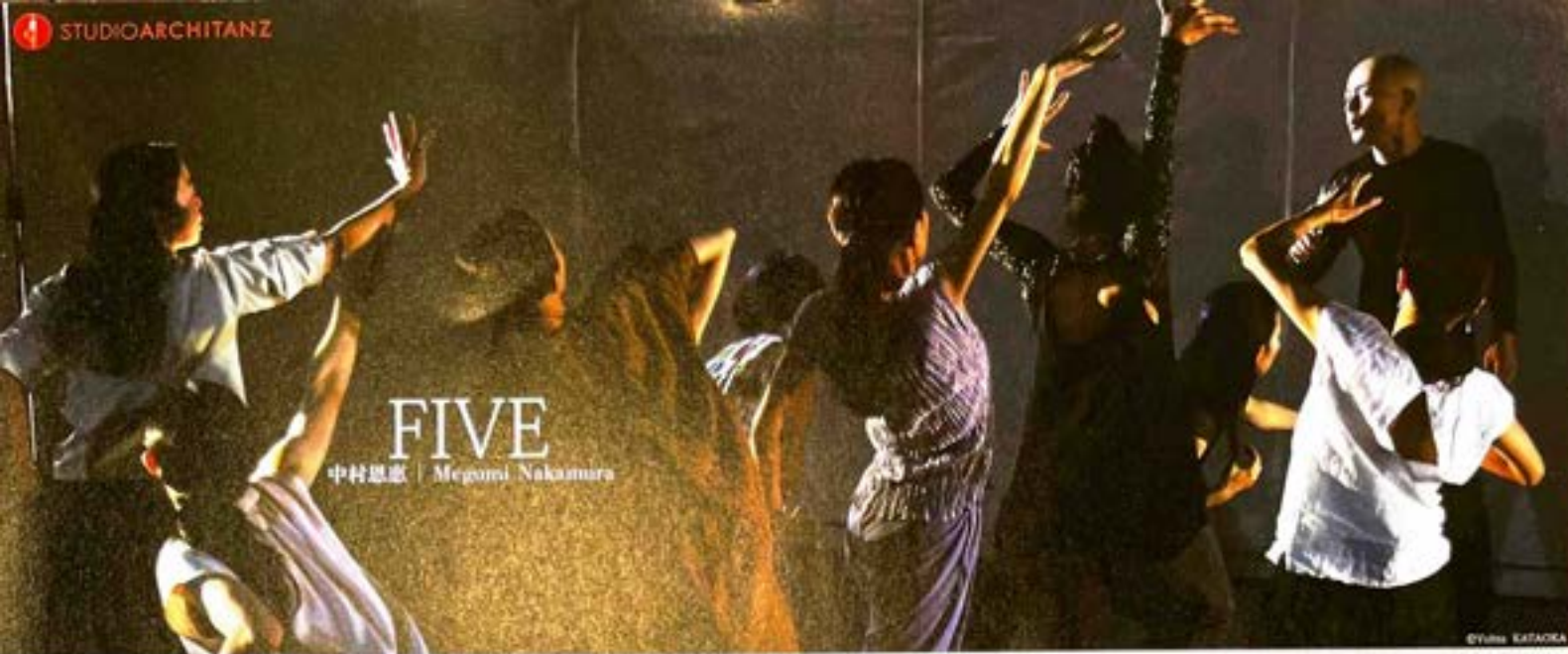
Subsidy : National Culture and Arts Foundation,

Department of Cultural Affairs Taipei City Government

Partners : Kinoshiki International Arts Center (Toyooka City),

STUDIO ARCHITANZ





FIVE

中村恵恵 | Megumi Nakamura

©Yuma KATAOKA

3人の振付家による3本の新作



見我・A Step Forward

©Yuma KATAOKA

アーティスト・サポート・プログラム(ASP)  
スタジオ・パフォーマンス

2023年12月8日(Fri) 9日(Sat)

20:00開演(19:45開場)

スタジオアーキタンツ  
@01スタジオ

Quartet

岡本壮太 | Sota Okamoto

©Shinn KAZAMA

# 3人の振付家による3本の新作

アーキタンツのスタジオパフォーマンスは、経験や実績のある振付家が新たなことへ挑戦する場として、スタジオ設立時より開催していた企画。今回は、横浜ダンスコレクション・コンペティションの副賞として WANG Yeu-kwn (ワン・ユウグァン)の新作を上演するほか、中村恩恵、岡本壮太の3人の振付家による3本の新作を上演する。

## 『Five』 中村恩恵 | Megumi Nakamura

祖母、父、母、姉、そして私。私は5人家族の最年少者として育った。私にとって家族とは心の拠り所であり、そして同時に癒しがたい痛みを繋ぎ続ける鋭い棘だ。この小さな棘をスターティングポイントとして、とても個人的な作品を作ってみることにした。社会学においては、どんなに個人的な問題も社会の問題であると言われている。個人的な苦しみを明らかにすることは、私たちが生きる社会の病相を暴くことになるのかもしれない。

【振付・出演】中村恩恵

【出演】祖母：津村雄次郎、父：森重靖宗、母：中村恩恵、姉妹：小坂美桜、小野陽子



津村雄次郎



森重靖宗



小坂美桜



小野陽子



中村恩恵 | Megumi Nakamura

ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞受賞後、モンテカルロ・バレエ団を経て、1991年から99年までイリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し、世界を牽引する振付家たちの創作に携わる。退団後は振付を手助け、Noisem、Kバレエカンパニー、新国立劇場・バレエ団等に作品を提供する。舞踊批評家協会新人賞、芸術選奨文部科学大臣賞、服飾智恵子賞、栄冠舞臺等多数の受賞歴を持つ。

## 『見我・A Step Forward』 WANG Yeu-Kwn | ワン・ユウグァン

人の心の奥底には、異なる自分になりたいという思いが秘められている。人生のある時点で、覚悟を決め、今いる場所から一歩踏み出す事を選択し、迷わずに未知の世界に飛び込み、自分自身の新たな能力に挑戦しようとするかもしれない。孤独に立ち向かい、霧の中で浮木や光を探し求め、何度も転んで走り、そして再び転ぶ過程を通じて、探求し、学び、理解することで、体を一步一步「自分」に近づけていくのだろう。

ユウグァンは、ダンサーであるインインが初めて日本の伝統文化を学ぶ過程で得た変化にインスパイアされ本作を制作。インイン自身が自己探求を続ける姿をソロ作品として発表する。作品を通じて、観るものが自分自身を見つめ直すきっかけとなることを目指している。

【振付】WANG Yeu-Kwn ワン・ユウグァン (微光製造)

【出演】LEE Yin-Ying リー・インイン (微光製造)



LEE Yin-Ying

【提携】ヨコハマダンスコレクション2023

横浜国際アートセンター(横浜市)

YOKOHAMA DANCE COLLECTION

【助成】

財団法人 国家文化芸術振興基金

NCAI

台北市政府 文化局

TAIPEI

## 『Quartet』 岡本壮太 | Sota Okamoto

Quartet (カルテット) → 四人組、四重奏。

男性二人、女性二人によるカルテット。性別、外見、国籍など、目に見える情報でカテゴライズするのではなく、多様性が認められ始めた中で『個』として存在するとはどういうことなのか。表面的性別と内面的性別、自分と他人、光と影、意識と無意識、など相対するものをクラシックバレエとコンテンポラリーダンスの要素を用い『個』とは何かを問う。また、クラシック音楽と作曲家、平本正宏のオリジナル音楽を用い、コントラストのある音楽構成も注目される。

【振付】岡本壮太 【音楽】平本正宏、他

【出演】梶田留以、中村春奈、根岸澄宜、岡本壮太



梶田留以



中村春奈



根岸澄宜



岡本壮太 | Sota Okamoto

8歳よりクラシックバレエを始める。2003年、文化庁新進芸術家国内研修生。ドイツ国立ベルリンバレエ学校卒業(Bachelor of Arts取得)ドイツ・メクレンブルグ州立劇場バレエ団、Noisem、チャイコフスキー記念東京バレエ団を経て、二見一幸、遠藤康行、Paul Juliusなどの作品に出演。振付家としても活動。23年 SAI DANCE FESTIVAL Competitionにて、振付作品が韓国招待作品に選出。

2023年12月8日(金)・9日(土) 20:00開演

スタジオアーキタンツ @01スタジオ

【チケット料金】整理番号付自由席

前売 3,000円  
当日券 3,500円

※未成年者のご入場はご遠慮いただいております。  
※都合により公演の内容、出演者等を変更する場合がございます。  
※公演中止を除くいかなる場合でも、ご返金出来ませんのでご了承ください。  
※開演と同時に整理券番号欄にご入場頂きます。

【チケット購入方法】



クレジットカード決済のみ。  
紙チケットは発行されず、カード決済後に整理番号をメールにてご案内いたします。

【会場・お問い合わせ先】

スタジオアーキタンツ  
東京都港区芝浦1-13-10 第3東通ビル4階  
TEL : 03-5730-2732  
EMAIL : dance@e-tanz.com  
MAP : <http://e-tanz.com/access>



公演情報

照明：藤戸あずさ(balance,inc.DESIGN)

広報デザイン：大黒屋Ryan尚保

助成：芸術文化振興基金助成事業

主催：株式会社アーキタンツ



# 城崎国際アートセンター Artist-in-Residence Program アーティスト・イン・レジデンスプログラム 2023/2024

Kinosaki  
International  
Arts  
Center

Shuhei Hatano

Kobukuro Kungswang

Takao Kawauchi

Rie Yamori

Hidero Iwai

Naoka Iemura

Ayaka Ono  
Akira Nakagawa  
Spaceblank

Maki Mori

Yoko Ishihara

Shie Minamoto

Yaneuta Heights

Translators Collective

Keiko Yamaguchi

Japan Association of Composers for

Naomi O

Ian Segarra

Sumo Hearing Arts

Yoshiyuki  
Yoshimoto,  
Kenta Yamazaki

Frédéric Feliciano  
(Friiix Club)



10 日本劇場演劇作家協会(JACSHA)

09 屋根裏ハイツ

10 太田奈緒美

11 山口恵子 / BRDG + イアン・セガラ / PETA

08 演劇野州年

12

演劇祭2023

Yamasa Theater Festival 2023

13.9.14 THU. - 24 SUN.

09

Yamasa Heights |  
New creation. 8th floor performance. "Table Manners" narrative title.

Schedule | 2023.10.6 FRI. - 20 FRI.

公演 日本



『パラダイス』(2021, ST Spot) photo by Harutaka Watanabe

## 屋根裏ハイツ

8F演劇公演『テーブルマナー(仮)』  
クリエーション

中村大地が演出を務める劇団・屋根裏ハイツによる2年ぶりとなる新作長編のクリエーション。

『パラダイス』(2021)に引き続き「理想の共同体とは何か?」というテーマを掘り下げ、とあるシェアハウスを舞台に現代社会における地縁・血縁に限らない共同体とその行く末を見つめる。

Yamasa Heights with its director Daichi Nakamura, will work on the creation of a new full-length performance after two years.

As they have done in "Paradise" (2021), they will continue to pose the question: "What is the ideal community?" By setting the scene in a shared house, they will examine the communities without any geographical or blood ties and their future in the contemporary society.

10

Communality Program 2023: Naomi Ota |  
A Walk Through the Space-time Continuum "in the house"

Schedule | 2023.10.25. WED. - 11.4 SAT. &amp; 2024.2.1 THU. - 11 SUN.

コミュニティプログラム2023 日本 | 東京

コミュニティプログラム2023:太田奈緒美  
タケノ時空間散歩『この家で』

タケノ時空間散歩『この家で』 中村大地 | in the house | 演劇祭2023 photo by tozoo

美術作家の太田奈緒美が、かつて竹野町で発行されていた文集『万年青(おもと)』を手がかりに地域を訪ね歩き、人々の言葉や記憶、風景を拾い集めて物語を紡ぐプロジェクト。2022年度に試作した物語から、語りによるパフォーマンスを制作。2024年度の完成を目指す。

An installation artist Naomi Ota will walk around to meet the residents of Takeno Town, with "Omoto", an anthology of stories published by the local community. With the words and memories of the people and landscape collected in the community, she will weave short stories. The text written in the season 2022/2023 will take the form of a narrative performance during the residency in 2023/2024, and it will be finalized in 2024/2025.

11

Kellie Yamaguchi / BRDG &amp; Ian Segarra / PETA | New Creation

Schedule | 2023.11.8 WED. - 26 SUN.

公演 日本/フィリピン

山口恵子 / BRDG +  
イアン・セガラ / PETA  
新作クリエーション

BRDG + PETA | ふる〜ハブハウス | Fureu ~ Haboo (2020, THEATRE 13 KYOTO)

京都を拠点とする演劇ユニットBRDGとマニラを拠点とする劇団PETA(フィリピン教育演劇協会)によるコラボレーション。

京都市内に実在するコミュニティカフェをモデルに、日本とフィリピン両国でのリサーチを通して、国をまたいで移動する人々とカフェが創り出す共同体の姿を描く。

Collaboration between a Kyoto-based theater group BRDG and a Manila-based theater company PETA (Philippine Educational Theater Association).

Based on an existing community cafe in Kyoto, after their research in Japan and the Philippines, the piece will portray a possible community created by the cafe and people who move between different countries.

12

Yeu-kwn Wang and Danang Pamungkas |  
A Quest for Relationship: Island of \_\_\_\_\_

Schedule | 2023.12.11 MON. - 28 THU.

演劇祭2023 日本/インドネシア

IA Quest for Relationship: Island of \_\_\_\_\_ |  
(2022, National Kaohsiung Center for the Arts) |  
Photo by Wei-Sheng Chenワン・ユークアン +  
ダナン・パムンカス  
A Quest for Relationship:  
Island of \_\_\_\_\_

台湾の振付家、ワン・ユークアンがインドネシアのダンスアーティスト、ダナン・パムンカスと2022年から取り組むコラボレーション。

「わたしとは誰なのか?」という問いのもと、異文化間の対話と交感を通して、互いの身体に潜む文化の姿を探求するダンスパフォーマンス。

A collaboration project started in 2022 by Taiwanese choreographer Yeu-kwn Wang and Indonesian dance artist Danang Pamungkas.

In this dance performance, they will explore the appearance of the cultural heritage that dwells inside their own bodies, through the intercultural dialogues and interchanges on the question: "Who am I (we)?"



12月の滞在アーティストかみくどき

1

ワン・ユーグァン+ダナン・パムンカス

①12月17日(日)15:00~ ダンスワークショップ

②12月22日(金)19:30~ 『Islands』<sup>アイコンズ</sup>稽古場公開

③12月24日(日)15:00~ 『Islands』試演会

どんな人たち?

photo by Wei-Sheng Chen



滞在期間 12月10日~12月27日

ワン・ユーグァン **台湾** 振付家

Yeu-Kwn Wang

2021年のヨコハマダンスコレクションで上演した『beings』で、KIAC賞など3賞を同時受賞した台湾の振付家。人と環境の関わりに関心を持ち、哲学的アプローチで創作を行うほか、ワークショップも積極的に行っています。

photo by Danxia Aquino



ダナン・パムンカス **インドネシア** ダンスアーティスト

Danang Pamungkas

インドネシアの古都スラカルタ(ソロ)出身のダンスアーティスト。伝統的なジャワ舞踊を学んだ後、台湾の国際的ダンスカンパニー「雲門舞集」(クラウドゲート・ダンスシアター)のメンバーとして活動。現在はフリーのアーティストとして世界各地で活動しています。

何をやるの?

私たちの「体」は、周囲の環境や文化などから意識的・無意識的にさまざまな影響を受けています。この2人のアーティストの創作のテーマは、その「体」に蓄積されている文化の姿です。

台湾とインドネシア。ともに島国である二か国のダンスアーティストが協働で、異文化間の対話と交流を通して、お互いの身体に潜んでいる文化の姿をダンスパフォーマンスとして探究します。



滞在中には、経験のない方も参加できる「①ダンスワークショップ」、創作の様子を公開する「②稽古場公開」、作品上演とトークを行う「③試演会」を通して、その創作プロセスを共有します。

滞在制作後、2024年秋に台湾の国立劇場で公演が予定されている注目作です!

Shimmering Production (廣光舞臺) 『Islands』  
photo by CHEN Wei-Sheng (陳 韋勝)

助成/令和5年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業、財団法人国家文化芸術審議会、台北市政府文化局  
提供/ヨコハマダンスコレクション2023、スタジオアーキタンツ

#台湾 #インドネシア #コラボレーション #島国のアーティストが島国・日本で創作

これから  
予定

- 1月中旬(予定) —— OArt Translators Collective「アート・トランスレーション・パーティ」地域交流プログラム
- 2月10日(土) —— OKIACコミュニティプログラム2023:太田奈緒美 タケノ時空間散歩「この家で」お座敷語りならべ
- 3月上旬(予定) —— O森下真樹+上村なおか「聴ける女、握り出す女。~「聴ける女」を通して作品を獲すことを考え、握る~」試演会
- 3月下旬(予定) —— O岩井秀人/ハイバイ「新作」試演会



城崎国際アートセンター (KIAC) 2023 年度 アーティスト・イン・レジデンス プログラム  
ワン・ユグァン (Yeu-kwn Wang) × ダナン・パムンカス (Danang Pamungkas) 『Islands』 試演会

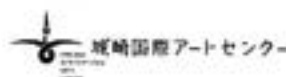
2023 年 12 月 24 日 (日) 15:00-16:30 / 城崎国際アートセンター

ヨコハマダンスコレクション 2021-DEC コンペティション I にて、奨励賞、アーキタンツ・アーティスト・サポート賞、城崎国際アートセンター賞をトリプル受賞した台湾の振付家、ワン・ユグァンがインドネシアのダンスアーティスト、ダナン・パムンカスと 2022 年から取り組むコラボレーション。「わたしとは誰なのか？」という問いのもと、異文化間の対話と交感を通して、互いの身体に潜む文化の姿を探求するダンスパフォーマンス。2024 年秋、台湾の National Theater and Concert Hall (国家两厅院) にて初演予定。

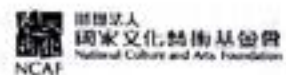


photo by Wei-sheng Chen

主催 | 城崎国際アートセンター (豊岡市)  
製作 | Shimmering Production (微光製造)  
助成 | 令和 5 年度 文化庁 アーティスト・イン・レジデンス  
活動支援事業を通じた国際文化交流促進事業  
財団法人国家文化芸術基金会  
台北市政府文化局  
提携 | ヨコハマダンスコレクション 2023  
スタジオアーキタンツ



微光製造  
SHIMMERING PRODUCTION



YOKOHAMA DANCE COLLECTION

